

令和3年度 にしふじのみや幼稚園学校評価

自己評価実施日 令和4年1月14日

学校評価委員評価実施日 令和4年2月14日

学校法人土橋学園 にしふじのみや幼稚園園長 矢部理恵子

学校法人土橋学園 にしふじのみや幼稚園学校関係者評価委員委員長 吉澤利一

1 幼稚園の教育目標

「独り立ちする子」をめざして 「一人一人が輝く子ども」

1 思いやる心 2 丈夫な体 3 考える力

2 重点目標

- ・幼稚園ならではの体験・たくさんのお友達や先生と関わる事によって自立のための基礎を育てます。
- ・「生きる力」「愛」を掲げ、社会性のある子を目指します。
- ・「知育」「徳育」「体育」をバランスよく組み合わせた教育を行っていきます。
- ・研修主題*体操あそびや全身を使った音楽活動(ボディーパーカッション)を通して生きる力の基礎を育てる*

3 評価項目の取り組み状況・達成結果の評価

- ※結果の表示方法
- A 十分に成果があった
 - B 成果があった
 - C 少し成果があった
 - D 成果がなかった

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	反省と改善点	評価点	意見
1 保育の計画性	B	<p>コロナ禍での生活が少しずつ慣れてくる中で、行事や日々の生活・教育が出来るよう職員間でたくさん話し合いをすることが出来た。</p> <p>・昨年度に引き続きコロナ禍での行事等の計画が多くあったが、職員間でも話し合い子ども達の為に様々な形で行うことが出来た。</p> <p>・幼稚園教育要領を今以上に理解し、アフターコロナに向けてより良い保育を目指したいと思う</p> <p>・コロナ禍であっても出来る内容を考えながら、行事を行うことが出来たと思う。</p> <p>・子ども一人一人の姿をとらえながら計画を立て毎日の反省を生かして保育技術を高めていきたいと思う。</p> <p>・大きな行事において前年よりももっと良いものに出来るよう気付いたことは皆で共有し工夫したり改善したりした。反省があった場合は全員で考え次回につなげることが出来た。</p>	A	<p>・コロナ禍でも子ども達の為に出来ることを考え違った形になっても行えていたと思います。</p> <p>・コロナ禍で大変な時ですが、先生方の笑顔とパワーで頑張ってください。</p> <p>・本年度もコロナ禍により従来通りに行事を行うことが難しい中でも先生方が、子どもたちが頑張れる環境を作るために様々な工夫や努力して下さり子ども達も不安にならずに過ごせていたと思う。PTA主体の行事であってもコロナ禍で開催に迷うことが沢山ありましたが、先生方が賛同して協力して下さり子どものための行事が出来たと思います。</p>
		<p>・自分のクラスだけでなく、全職員が他のクラスにも目を向け、成長と一緒に見守る体制が出来ていると思う。</p> <p>・コロナ対策として最新の空気清浄機を新たに入れてくもらい、安心、安全、健康により重点を置くことが出来た。</p> <p>・外国人国籍のお子さんや保護者への援助や対応に悩むことがあったが、先生方に相談したりサポートして頂いたりしたおかげで一年頑張ることが出来た。</p>		<p>・一人の子の特性や問題点を園の先生方全員が理解しカバーしてくれていることでクラス以外や園全体の場面でも安心した様子で過ごせているのがとても有難いと思います。</p>

2	保育の在り方 幼児の対応	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内の水道やトイレ（水回り）の清掃は日頃から丁寧に行うよう心掛けている。その他の清掃も含め常に園児たちが安心して使用できる様配慮していきたい。 ・日々の保育をしていく上で、困ったときや悩んでしまう時は先輩の先生方にアドバイスを頂いたり助けてもらった。親身になって一緒に考えて下さった先生方のありがたみを感じた。 ・小さなことでも声にして職員全員で気になる子や配慮が必要な子について見守ることが出来た。小さい園の良さを生かしどの先生での子ども一人一人の理解が出来たと思う。 ・子ども同士のトラブルの対応や言葉がけなど他の先生方の指導を見てもっと上手く出来るようにしていきたいです。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事で気になって相談をすると幼稚園での様子を色々と時間を取り対応してくれ寄り添ってくれることに感謝、保護者も自分の子どもの為に出来ることを考え育てていく。 ・一園一学級を大切に子ども達に全力で向き合っ下さる先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。
3	教師としての 資質・能力 良識・適正	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな個性がある子ども達がいる中で、どのようにすればより良い成長につなげられるかを考えたりクラス経営を行うことが出来た。 ・子ども達と元気良く関わる為にも自分自身の健康状態を気を付けていきたい。今年は先生方にサポートしていただき治療することが出来とても有難かった。 ・コロナ禍でも様々な行事を終えるたびに子どもたちの成長や達成感、感動等味わうが子どもと先生たちが一緒に成し遂げた園全体での迫力、パワーも感じた。自分自身も更に頑張ろうと感じる瞬間でもあった。 ・幼稚園教諭としての専門知識や技能がまだまだ足りていないと思う、今後は研修などを受け子どもの為、園の為、自分自身の為にもスキルアップしたい。 ・今年は免許更新の年だったので、講義を受け多くの知識を得ることが出来た。様々な講師の先生から最新の保育事情を知ることが出来他の先生に伝えられたりと良い経験が出来た。今後も積極的に研修に参加したい。 ・常に子供たちに愛情を注ぎ、子ども達の大切な命をお預かりしているという責任感を持ち日々頑張っていきたい。 ・先生方が皆で話し合い、助け合いながら保育が出来ていて子どもたちの関わりや保育をすることが楽しいと感じています。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛情を持っての指導の中で厳しくするところは厳しく、遊ぶ時いっぱい遊ぶというしっかりとしたメリハリを先生方がお見本となって自然に身に付けて下さることがありがたいです。 ・ベテランの先生方と新しい先生が交わり、お互いに刺激しあって向上してる感じが伝わるととても良いと思います。 ・中学生や高校生になった子ども達は、にしふじのみや幼稚園の話になると「幼稚園であんなことした！〇〇先生がこんなことして面白かった！」と今でも話題になり笑顔が絶えません。元気で明るい先生方のおかげです。
4	保護者への対応	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で行事の縮小や中止で、保護者同士の交流が少ない中でどうすればもっと保護者同士のつながりが作れるか工夫したり考えたい。 ・配慮が必要なお子さんの保護者の方と頻りに連絡を取り合ったりケース会議などを定期的に行い成長を見守ることが出来た。 ・外国人国籍の保護者の方には、図や写真、実物などを見せながら個別に丁寧な対応を心掛けた。改めて、相手が理解できる説明をすることの重要性を知ることが出来た。 ・電話対応は相手が見えない為、応対次第で印象が決まることが多いので気を付けていきたい。外国籍の子どもの入園が増えているので子ども、保護者への対応を出来るだけわかりやすく、寄り添いながら伝える事を心掛けた。 ・保護者への対応は難しく大変なこともあったが、送迎の時間を使い子どもの様子を伝えるなどして、保護者とのコミュニケーションを大切にしていた。 ・保護者への対応や電話対応は難しいと感じる為、先輩の先生方の姿や言葉がけを見てこれからも学び続けていきたいと思う。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝言ゲームのように言葉が人から人に思うように伝わらず先生との間に誤解が生じてしまい先生に嫌な思いをさせてしまうことがありましたが、その後ゆっくりお話をする時間を設けて下さり真剣に向き合っただけなこととはとても有難かったです。子どもへの愛情の深さを感じました。 ・コロナ禍で保護者同士の交流は減ってしまいましたが先生方が保護者同士のつながりを作るためにいろいろと考えて下さりありがたいです。 ・下駄箱のあたりで保護者の方と先生が話しているのをよく見かけ、先生と保護者の関係は取れているように感じます。保護者同士というのは今の時期は難しいとは思いますが少人数を生かして何かできればとも思います。 ・保護者の方たちは、先生方を頼りにしていると思います。誠実に向き合うことが大切なことだと思います。頑張ってください。

5	地域の自然や社会との関わり	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりは減ってきたがまだまだ新型コロナウイルス感染の終息には至らず地域の行事や外部との関わりが少ない。祖父母が県外の方も多く子ども達の為にもご家族の為にも元の生活を願います。 ・地域の方々のご理解やご協力はあってこそ様々な幼稚園行事が実施できることを感じる。感謝を忘れずより一層頑張っていきたい。 ・園の周辺の地域の方との挨拶は積極的にする様心掛けているが100%お名前を覚えていないので、きちんと覚え挨拶や会話が出来るようにしていきたい。 ・未就園児の遊びの広場に来園してもらえよう小さい子どもさんを連れてくるお母さん達に声を掛けるようにした。少しずつだが新しい親子にも地域に開放的な”にしふじのみや幼稚園”を知ってもらえている気がするのでこれからも頑張りたい。 ・地域の方が声を掛けて下さることが多く地域に守られていることを感じる。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方が通りがかりには必ず挨拶をしてくれ登校中や下校の小学生にも気を配っていたととても有難いです。 ・コロナ禍でなかなか厳しいと思いますが、園の近くに公園があるのでもっと園児が外に出かけられるようになれば良いなあと願います。 ・PTA主催の廃品回収を行う中で園児の家庭だけでなく地域みなさんにもっと周知していただけたら良かったと思いました。
6	研修と研究	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年免許更新があった為、大学の先生方から研修を受ける機会があった。とても素晴らしい内容ばかりで自分自身の知識を深め沢山学ぶことが出来た。研修会はとても大切だと感じた。 ・外国籍の子供が増えてきた中でうまく言葉が伝わらなかつたりすることがあり、さらに工夫や努力が必要だと感じた。 ・公開保育（ECEQ）の研修に行き、他園の保育を見る中で勉強させてもらい園の保育にも生かすことが出来た。 ・園地、園庭の樹木や草花の名前などについてもっと詳しくなり子ども達に質問された際すぐに答えてあげられるようになりたい。どんな質問にも答えてあげられる教師は魅力的だと思うので日々勉強していきたい。 ・今年は免許更新だったので、様々な講義で多くの知識が得られた。有意義な研修に参加できるのはとても素晴らしいことだと思う。来年度も研修会には参加していきたい。 ・自分の保育を高めていけるようこれからも研修会などに参加しながら学び続けていきたい。 ・リモートという形で研修し、新たな知識を得ることが出来た。子ども達の成長につながるような知識をもっとたくさん習得していきたい。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年発表会でプロの方と演奏したり、誕生会等でもプロの大道芸のパフォーマンスや演奏会を見せて頂いたり、園の保護者や先生方の繋がりから沢山の専門的知識や技術を持った方たちに触れ合う機会があることは、この園の素晴らしい魅力であり教育理念だと思います。園の子ども達のみならず保護者も良い刺激を受けて勉強になることが多いので是非引き続き積極的に取り組み続けていただきたいと思います。

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

・今年も新型コロナウイルス感染拡大により行事等が中止や縮小となったがその中でも「一人一人が輝く子ども」を目標に個性を大切に保育を通し、自分からやろうとする子は達成できたと思う。

・日頃から取り組んでいる「ボディーパーカッション」「体操遊び」「音楽の活動」「日常の保育」などにはそれぞれにおいて相関関係があり、それぞれの活動において繋がりがあることがわかってきた。自分の体を大切に、必要な習慣や態度を幼稚園生活の自然の流れの中で身に付け、見通しをもって自律的に行動していくことはとても大切なことである。このように、子どもたちが表現する過程を楽しみ、その子どもたちの自己表現が豊かになっていくよう、子ども達の心に寄り添いながら適切な対応をしていくことが大切であると改めて実感した。今後も園の活動と効果的に絡ませながら向上させていきたいと思う。

・幼稚園は「初めての学校・教育をする場」であることを基本にコロナ禍の中ではあったが、新しい発想を取り入れ更に資質の向上に努めてきた。今年も新型コロナウイルス感染拡大により保護者や近隣の方々とのコミュニケーション、そして幼少連携を通して子育ての為の関係づくりが少ない状況が続いているのでアイデアを出し合いコロナ禍でも深めていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
地域との関わり	幼少連携・回覧板による情報公開・情報の収集・地域内の施設訪問をし交流を深める 地域行事への参加
自己啓発	指導計画の見直しと、報告・連絡・相談を密に保育の営みを連携しながら更に向上させたい
基本的な生活習慣	家庭、地域、幼少等、連携を密にして実践する

6 学校関係者評価委員会からのコメント

- ・前向きに向上心あふれる先生方で感心致しました。どんな子にも居場所がある楽しい温かい幼稚園ならばそれなりに大きく成長していく事と思います。よき人との出会いが、自立に向けた大きな力になると思います。
- ・運動会で年長つばめ組の皆様による素晴らしいマーチングバンドの演奏を聞き、園児達のつぶらな瞳、明るく爽やかな歌声、そして将来新しい社会を築っていく園児たちの「笑顔」は平和社会の象徴です。
- ・長引くコロナ禍において先生方、子ども達に一人の感染者も出さずに幼稚園生活を継続できた事は、一人一人の意識が高くなければ出来ない事だと思います。普段の生活の環境作りから行事をどのようにしていくかなど状況の変化に合わせての対応を考えて下さり子ども達も安心して過ごすことが出来ていると思います。
- ・コロナ禍出行事の中止や保護者の参観が無くなるなど本当に残念なことも多かった中でも子どもたちが楽しめるように様々な工夫や保護者への呼びかけなど前向きに先生方が1チームとなって取り組んでいる様子が伝わり皆で頑張ろうという気持ちになりました。
- ・どの先生も全員の子どもの名前を覚えて知ってくれている「一園一学級」の取り組みは、少し成長に不安のある子を抱えている保護者にはとても有難く感謝しております。是非今後も継続していただきたいです。
- ・ボデーパーカッションやマーチングをやり遂げた子ども達の姿はとても凛々しく、そこまでの日々の頑張りを思うとあきらめない指導や努力をして下さった先生方がいることに毎年とても感動します。
- ・教育目標を柱とし、日々子ども達と真剣に向き合う先生方に感謝です。
- ・感染症対策をしながら色々な行事に向かって一生懸命な先生方、幼稚園から聞こえてくる音楽にいつも明るい気持ちになります。世の中が大変な時期ですがこれからも、にしふじのみや幼稚園の良い所をたくさんアピールしてください。
- ・一人一人を大切に日々接して下さったおかげで子どもたちは伸び伸び元気に成長しています。にしふじのみや幼稚園が「はじめての学校」のスタートとして過ごせたことは、親子共に本当に幸せな時間でした。
- ・人として根っこの部分を幼稚園という温かな集団の中で大切に育てて頂いたこと、にしふじのみや幼稚園に通わせて本当に良かったです。
- ・引き続きコロナ禍での生活でご苦労も多いかと思いますが、インスタグラムで園児の楽しそうな様子を見ると先生方の愛情が伝わってきます。今後も園児、先生方の笑顔あふれる様子を楽しみにしています。

